

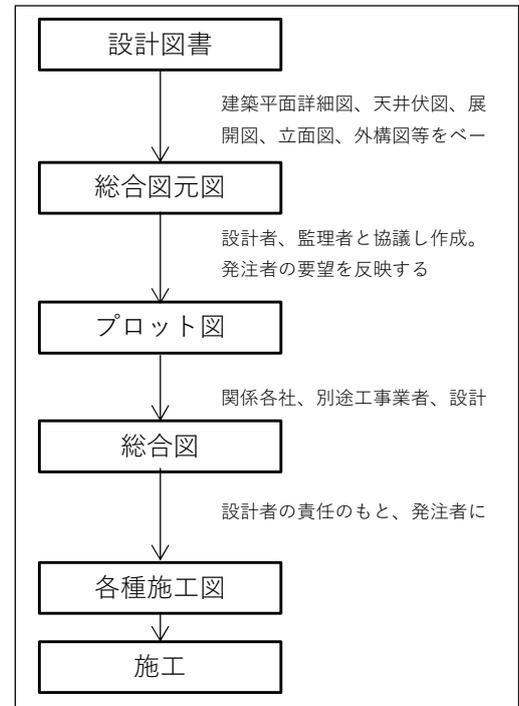
建築版	施工段階	設備工事：	電気	○	設備工事 ポイントシート (1-6)
1-7	着工時	プロット図・総合図の作成	空調	○	
			衛生	○	
			その他	—	

「総合図」、「プロット図」とは意匠、構造、設備の設計情報を一つの図面に一元化することで、納まりや使い勝手、発注者の要望をトータル的に確認し、工事や施工図の手戻りを無くす等、品質確保を目的に工事初期段階に作成・調整する図面です。

ポイント

- ・発注者、設計者、監理者、施工者が建築、設備その他関連する工事の概要と相互関係を把握し、工事の内容を共有する為に作成します。
- ・総合図の基となる総合図元図をいち早く作成しましょう。
- ・各設備業者が設計者との打合せに沿って、設備の記号を元図に書き込みプロット図を作成します。
- ・早期に発注者にプロット図を説明することにより、要望を引出し、早期もの決めに活用します。
- ・プロット図には原則仕上面に表れる機器類を表記します。
- ・別途工事の情報もあわせ、隠蔽部の機器・配管・ダクトの制約を考慮し調整の上、何度も修正を重ね具体的位置を決定し、総合図を作成します。なお、メンテナンススペースや点検口にも配慮が必要です。
- ・確定した総合プロット図を基に各種施工図を作成します。
- ・プロット図・総合図の作成の遅れは工事工程の遅れに繋がり、施工中の変更はコスト増に繋がります。

■総合プロット図作成フロー



先輩アドバイス

- ・工事の初期段階で設計者と密に打合せを行う事で設計内容への理解も深まります。
- ・将来の間仕切りや備品類の配置にも留意してプロット図・総合図を作成します。
- ・建物の用途や規模により展開図を元に作成します。
- ・別途工事の情報も忘れず記載が必要です。

チェック項目

- 人の動線、建具位置・開閉方向、設備機器、その他建物の使い勝手に問題は無いですか。
- 備品（家具等）の配置は考慮しましたか。又、将来の間仕切壁等の設置は無いですか。
- 別途工事の内容を図面に反映しましたか。
- 機器配置上、法的な問題は無いですか。
- 隠蔽部に設置される機器やダクト等による影響は無いですか。

失敗すると...

- ・工事や施工図に手戻りが発生し、工程遅延や品質確保に問題が生じると共にコスト増にも繋がります。

共通管理項目	合理化省力化	施工性向上	品質・性能向上	工期短縮・圧縮	コスト削減(材料)	コスト削減(労務)	設備先行工事	工事区分見直し	責任所在明確化
	—	○	○	○	—	—	—	○	○
備考	参考文献：						初版発行	2020年12月	
							改訂		